

ディーラーマニュアル

シフティングレバー

ラピッドファイヤープラス RAPIDFIRE Plus

MTB

XTR

SL-M980-A
SL-M980-A-I
SL-M980-B-I
SM-SL98-B

SAINT

SL-M820
SL-M820-I
SL-M820-B-I
SM-SL82-B

DEORE XT

SL-M780
SL-M780-I
SL-M780-B-I
SM-SL78-B

SLX

SL-M670
SL-M670-I
SL-M670-B-I

ZEE

SL-M640

DEORE

SL-M610
SL-M610-I

ALIVIO

SL-M4000

ACERA

SL-M3000
ST-M3050

ALTUS

SL-M370
SL-M310
SL-M2010

Non-Series

SL-M315

Trekking

DEORE XT

SL-T780

DEORE LX

SL-T670

ROAD

Tiagra

SL-4600
SL-4700
SL-4703

SORA

SL-3500
SL-3503

Claris

SL-2400
SL-2403

Non-Series

SL-R460
SL-R350
SL-R353

目次

重要なお知らせ	3
安全のために	4
取付け	5
用意する工具	5
- ROAD	5
- MTB	5
ハンドルバーへの取付け	6
- ROAD	6
- MTB	6
I-SPEC (アイスペック) の場合	7
シフティングレバー、ブレーキレバーの互換について	7
ノーマルスペックからI-SPEC (アイスペック) への組替え方法	10
メンテナンス	11
インナーケーブルの交換	11
- MTB / Trekking	12
モードコンバーターのある場合	12
- MTB / Trekking / ROAD	16
モードコンバーターのない場合	16
インジケーターユニットの交換と組替え	17
- MTB / Trekking	17
インジケーターユニットの交換	17
インジケーターなしへの組替え (カバー別売り)	18
- ROAD	22
シフティングレバーユニットの交換と組立	24
- MTB / Trekking	24
- ROAD	26
カバーの交換	27
- MTB	27
- ROAD	27

重要なお知らせ

- ディーラーマニュアルは自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方を対象としています。
専門知識のないユーザーがディーラーマニュアルを参照して、部品を取付けないでください。
記載されている内容に不明な点がある場合は絶対にご自身で作業しないでください。購入された販売店、または代理店へご相談ください。
- 各製品に付属している取扱説明書もあわせてよくお読みください。
- ディーラーマニュアルに書かれていない製品の分解、改造は行わないでください。
- 全ての取扱説明書、ディーラーマニュアルはウェブサイト <https://si.shimano.com> でご覧いただけます。
- インターネットをご利用でないお客様が、販売店様へ印刷されたユーザーマニュアルを問い合わせいただく場合があります。
お客様へユーザーマニュアルを印刷してお渡し頂くか、または最寄りのシマノ営業所に印刷版のユーザーマニュアルをお申し付けください。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。

安全のため、必ずこのディーラーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

安全のために

警告

- 製品を取付ける際は、必ず説明書などに示している指示を守ってください。
その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトやナットなどが緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。
また、調整が正しくない場合、不具合が発生し、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
-  部品の交換など、メンテナンス作業中は、安全メガネまたはゴーグルを着用し、眼を保護してください。
- ディーラーマニュアルはよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- レバー操作時には必ずクランクを回しながら操作を行ってください。
- 変速操作がスムーズにできなくなった場合には変速機を洗浄し、可動部に注油してください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。
- 最大限の性能を発揮するために、シマノ製の潤滑剤とメンテナンス製品の使用を強くお勧めします。

自転車への組付け、整備に関する事項

- インナーケーブル内蔵式フレームでは、ワイヤー効率が悪くSISが働きにくいいため、ご使用できません。
- インナーケーブルとアウターケーシングの摺動部分がグリス潤滑された状態で使用してください。もしインナーケーブルのグリスを拭き取ってしまった場合は、SIS-SP41グリス(Y04180000)の塗布を推奨します。また、インナーケーブルに砂や泥などの異物を付着させないでください。
- 円滑な操作のため、OT-SP41ケーブル、ケーブルガイド(SM-SP17 / SP18)をご使用ください。
- 変速ケーブルには専用グリスを使用しています。プレミアムグリスや他のグリスを使用すると変速機能が低下します。
- アウターケーシングはハンドルを一杯に操舵しても余裕がある長さのものをご使用ください。また、ハンドルを一杯に操舵した時にシフティングレバーがフレームに接触しないことをあわせて確認してください。
- 変速調整が出来ない場合には、車体の後ろ側にあるフォークエンドの平行度を確認します。ケーブルの洗浄およびグリスアップとアウターケーシングが長すぎたり短かすぎたりしていないかを確認してください。

手順の説明を主体としていますので、製品イメージが異なる場合があります。

取付け

■ 用意する工具

ROAD

工具	サイズ
六角レンチ	4 mm
プラスドライバー	#1,#2

MTB

工具	サイズ
六角レンチ	3 mm, 4 mm, 5 mm
プラスドライバー	#1,#2
スパナ	7 mm

■ ハンドルバーへの取付け

使用上の注意：

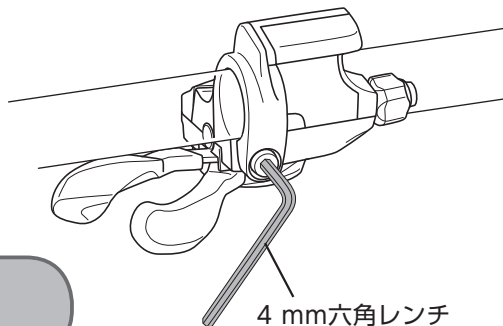
推奨締付けトルクにおいても、カーボンフレーム（ハンドル）の場合には、フレーム（ハンドル）への損傷ならびに固定不十分となる可能性があります。適切なトルク値に関しては、完成車メーカーまたはフレーム（ハンドル）メーカーでご確認ください。

- ブレーキ操作と変速操作に支障をきたさない位置に取付けてください。
- ブレーキ操作に支障をきたす場合は組合わせ使用しないでください。

ROAD

ハンドルグリップは最大外径が $\phi 36$ mm以下のものをご使用ください。

締付けトルク：
3 N·m



MTB

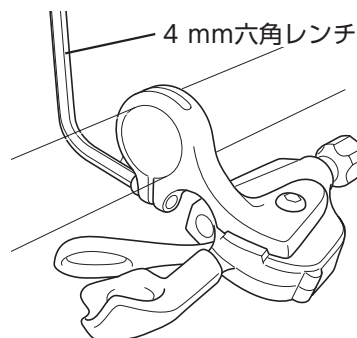
XTR / DEORE XT

ハンドルグリップは最大外径が $\phi 32$ mm以下のものをご使用ください。

SAINT / SLX / DEORE LX / ZEE

ハンドルグリップは最大外径が $\phi 36$ mm以下のものをご使用ください。

締付けトルク：
3 N·m



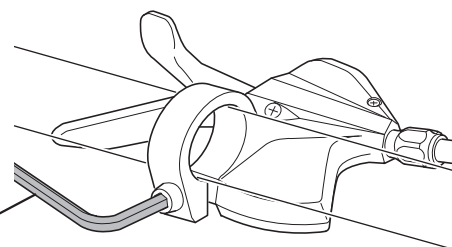
ALIVIO / ACERA / ALTUS / SL-M315

ハンドルグリップは最大外径が $\phi 36$ mm以下のものをご使用ください。

5 mm六角レンチ

締付けトルク：
5 - 7 N·m

* ST-M3050 : 6 - 8 N·m

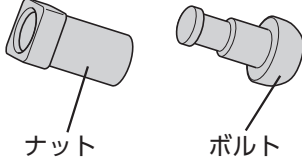
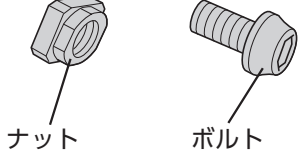


■ I-SPEC (アイスペック) の場合

使用上の注意：

- I-SPEC の場合はシフティングレバー（SL）とブレーキレバー（BL）を組合わせ、ハンドルに固定します。
製品によって組合わせ方法が異なりますのでご注意ください。組合わせ方法は次ページ以降の手順 2 番に相当します。
- それぞれのボルトに異なる指定トルクがあります。

シフティングレバー、ブレーキレバーの互換について

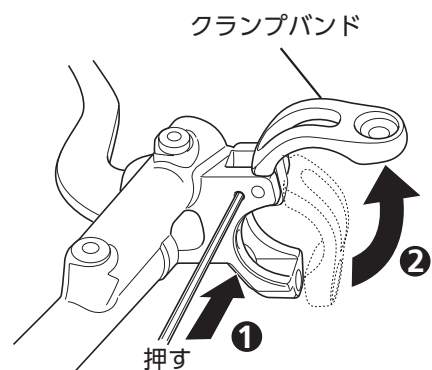
		シフティングレバー	
		新タイプ	従来タイプ
ブレーキレバー	新タイプ	[組付け手順]：Bの場合	
		 ボルト(小) ナット ボルト	
	従来タイプ	[組付け手順]：Cの場合*1	
		 ナット ボルト	
		[組付け手順]：Aの場合	
		 ナット ボルト	

*1 対応グリップ径：φ32 mm

タイプ別モデル一覧表

	従来タイプのモデル番号	新タイプのモデル番号
BL	BL-M985	左以外のモデル
	BL-M988	
	BL-M820	
	BL-M785	
	BL-T785	
	BL-M675	
	BL-T675	
	BL-M640	
	BL-M596	
	BL-T780	
	BL-T670	
	BL-S700	
	SL-M980-A-I	
	SL-M820-I	
SL	SL-M780-I	
	SL-M670-I	
	SL-S700	

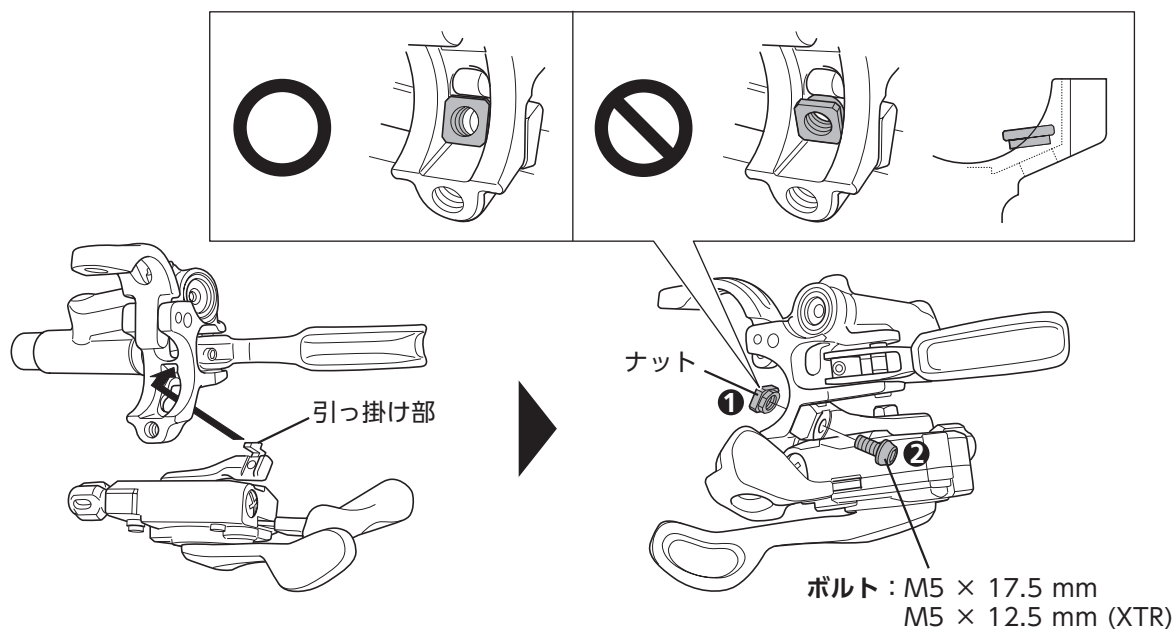
1. 図のように2 mm六角レンチでブレーキレバーのクランプバンドを開けます。



2. Aの場合

A-1

シフティングレバーブラケットの引っ掛け部をブレーキレバーブラケットの穴に取付けて、専用のナットとボルトで仮止めし、ハンドルバーに取付けます。



使用上の注意 :

ナットには裏表があります。

反対に取付けるとハンドルバーに正しく固定できず、キズを付けます。

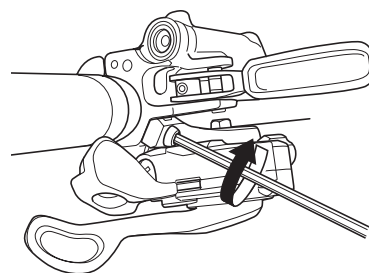
A-2

シフティングレバーを4 mm六角レンチでブレーキレバーに固定します。

4 mm 六角レンチ

締付けトルク :
4 N·m

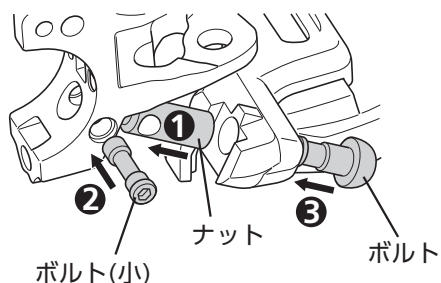
*XTR : 3 N·m



B,Cの場合

B-1

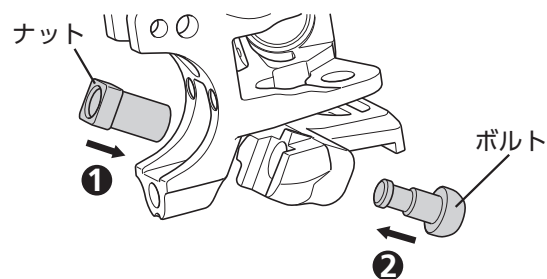
①をブレーキレバーブラケットの穴に挿入し、
②を横から①のナット穴へと貫通させ2 mmの
六角レンチで締めます。
その後、③のボルトでシフティングレバーを
取付けます。



締付けトルク：
1 N・m

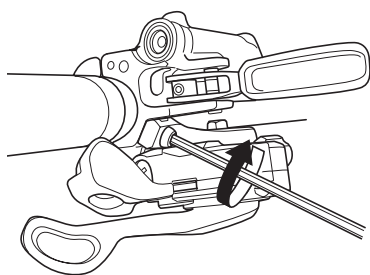
C-1

専用ナットとボルトで取付けます。



B-2 / C-2

3 mm六角レンチを用いて、専用ナットとボルトでブレーキレバーに固定します。

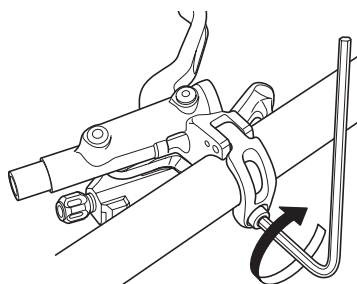


3 mm 六角レンチ

締付けトルク：
4 N・m

*XTR：3 N・m

3. 4 mm六角レンチでブレーキレバーのクランプバンドを固定します。



4 mm 六角レンチ

ブレーキレバー締付けトルク：
6 - 8 N・m

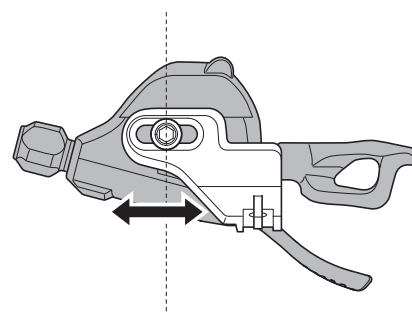
*BL-M987：4 - 6 N・m

シフティングレバー位置は左右にスライド調整ができます。

*SL-M610-IIはスライド調整できません。

7 mm スパナまたは 4 mm 六角レンチ

締付けトルク：
2.5 N・m

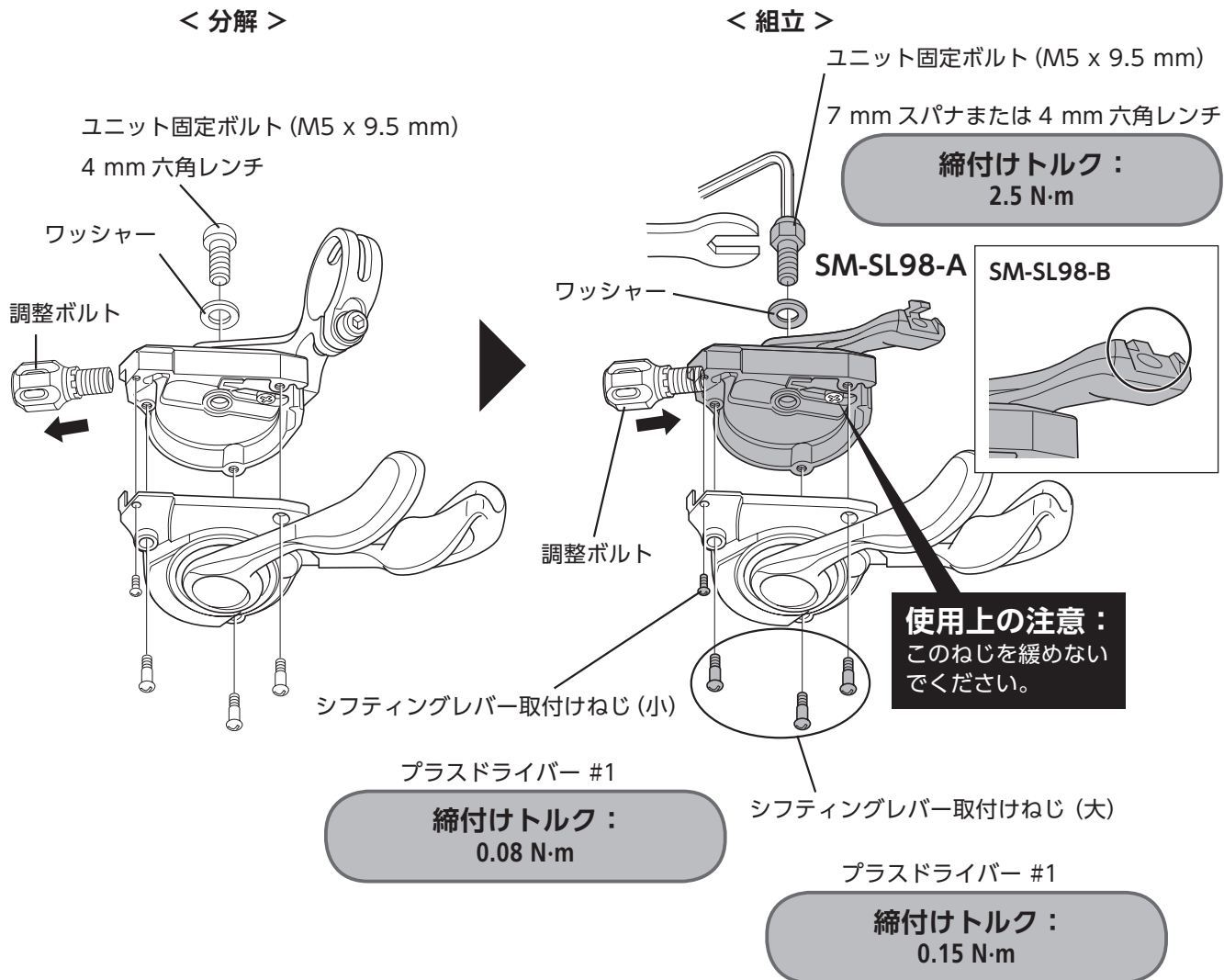


■ ノーマルスペックからI-SPEC (アイスペック) への組替え方法

*イラストは右レバーです。左レバーも同じ手順で行います。

XTR / SAINT / DEORE XT

*SLX, DEORE には、I-SPECへの組替え部品の設定がありません。



< 分解 >

1. フロントディレイラーまたはリアディレイラーのケーブル固定ボルト (ナット) を緩め、インナーケーブルを取付け時と同じ要領でシフティングレバーユニットから抜き取ります。
2. 調整ボルトを外します。
3. ユニット固定ボルトを外します。
4. シフティングレバーの取付けねじを4本とも外し、図のようにシフティングレバーユニットを外します。

< 組立 >

1. 組立はシフティングレバーユニットとブラケットバンド (SM-SL98-B, SM-SL98-A) の位置を合わせ、シフティングレバーの取付けねじで固定します。
2. ワッシャーをボルトに挿入して、ユニット固定ボルトを固定します。
3. 調整ボルトを取付けます。

メンテナンス

■ インナーケーブルの交換

* 変速機への固定方法および調整方法は、基本作業書のSISの調整の項目を参照ください。

推奨インナーケーブル一覧

カテゴリ	シリーズ	アウターケーシング	材質または表面処理
MTB/ Trekking	XTR	OT-SP41	SIL-TEC /シルテック
	SAINT	OT-SP41	ステンレス
	DEORE XT	OT-SP41	ステンレス
	DEORE LX	OT-SP41	ステンレス
	SLX	OT-SP41	ステンレス
	ZEE	OT-SP41	ステンレス
	DEORE	OT-SP41	ステンレス
	ALIVIO	OT-SP40	ステンレス
	ACERA	OT-SP40	スチール
	ALTUS (SL-M2010を除く)	OT-SP40	スチール
	SL-M2010/ SL-M315	OT-SP41	OPTISLICK /オプティスリック

カテゴリ	シリーズ	アウターケーシング	材質または表面処理
ROAD	Tiagra (4700シリーズ)	OT-SP41	OPTISLICK /オプティスリック
	Tiagra	OT-SP41	ステンレス
	SORA	OT-SP41	ステンレス
	Claris	OT-SP41	ステンレス
	Non-Series	OT-SP41	ステンレス

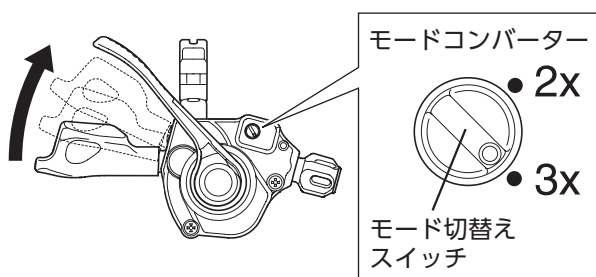
モードコンバーターのある場合

< フロント側 >

2 × 10

1. モードコンバーターをトリプルモード(3x)にして、ロー位置を確認します。レバー(B)を2回以上操作して、レバーをローの位置にセットします。インナータイコ穴キャップを外し、ケーブルを取付けます。

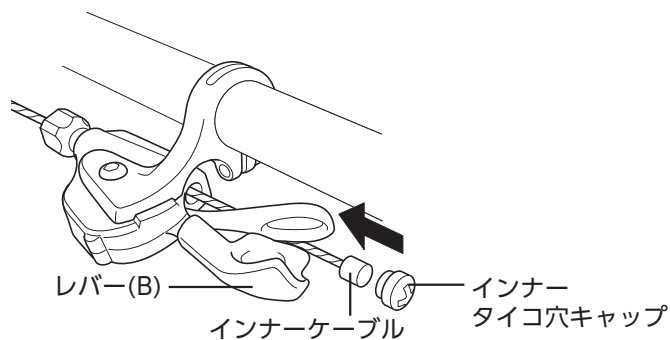
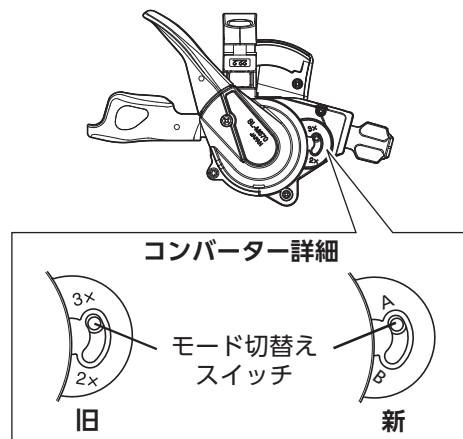
< XTR / DEORE XT >



使用上の注意：

モード切替えスイッチを無理に回さないでください。
無理に回すと破損します。

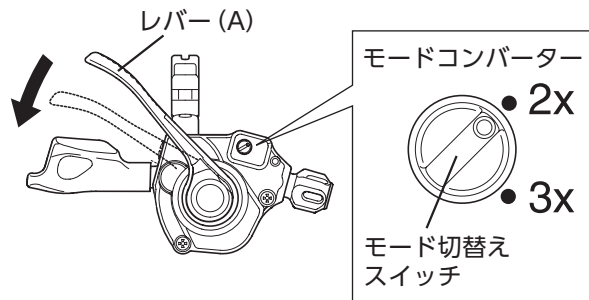
< SLX / DEORE >



2. レバー(A)を1回操作して、ミドル位置にします。
 モードコンバーターをダブルモード (2x) に切替えます。

*FD-M677/FD-M617/FD-M618はモードコンバーターを切り替える必要はありません。

< XTR / DEORE XT >

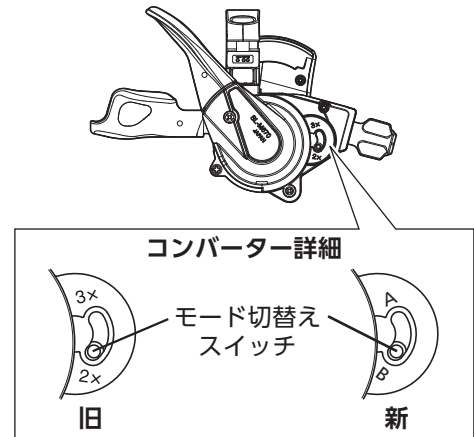


使用上の注意：

ロー位置ではモードコンバーターは切替えできません。
 必ずレバー (A) を1回以上操作した後、切替えてください。

無理に回すと破損します。

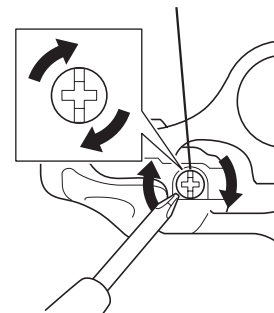
< SLX / DEORE >



2×10速	シフティングレバー上の モードコンバーター位置	
FD-M677 FD-M617 FD-M618		
FD-M675 FD-M676 FD-M615 FD-M616		

3. インナータイコ穴キャップを図のように止まるまで回して、取付けてください。これ以上回すと、キャップのねじ溝を破損します。

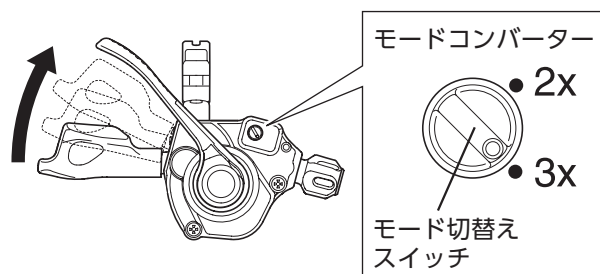
インナータイコ穴キャップ



1. モードコンバーターをトリプルモード(3x)にして、ロー位置を確認します。レバー(B)を2回以上操作して、レバーをローの位置にセットします。インナータイコ穴キャップを外し、ケーブルを取付けます。

*SL-T780 / SL-T670にはモードコンバーターは付いていません。
レバーを操作してロー位置にセットしてください。

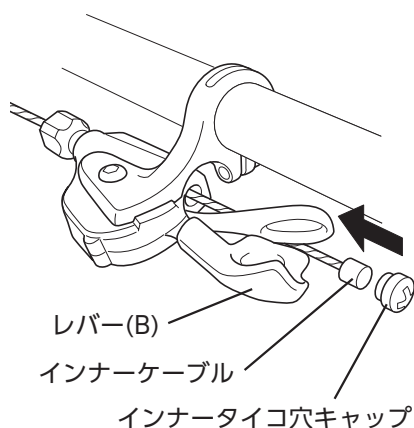
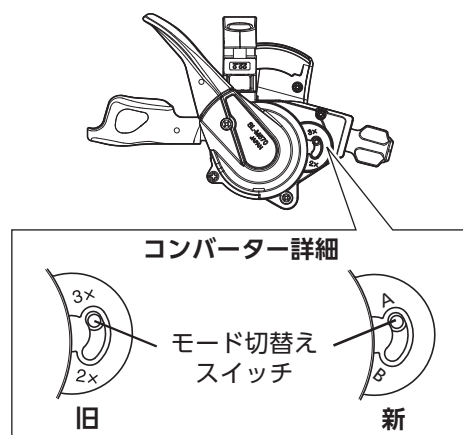
< XTR / DEORE XT >



使用上の注意：

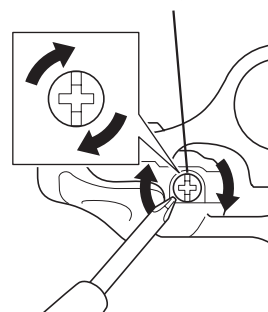
モード切替えスイッチを無理に回さないでください。
無理に回すと破損します。

< SLX / DEORE >



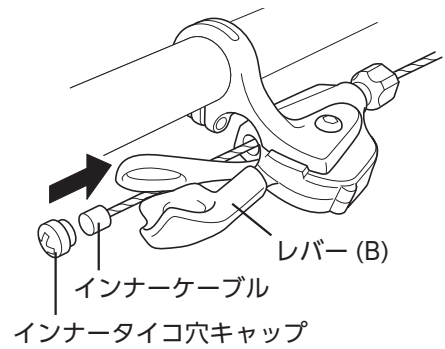
2. インナータイコ穴キャップを図のように止まるまで回して、取付けてください。これ以上回すと、キャップのねじ溝を破損します。

インナータイコ穴キャップ

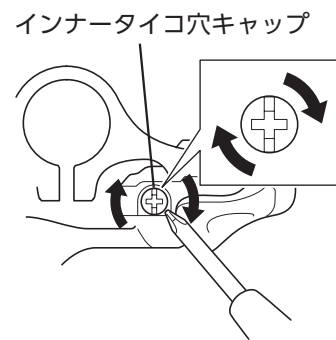


< リア側 >

1. レバー(B)を9回以上操作して、トップの位置にセットします。インナータイコ穴キャップを取外し、ケーブルを取付けます。



2. インナータイコ穴キャップを図のように止まるまで回して、取付けてください。これ以上回すと、キャップのねじ溝を破損します。

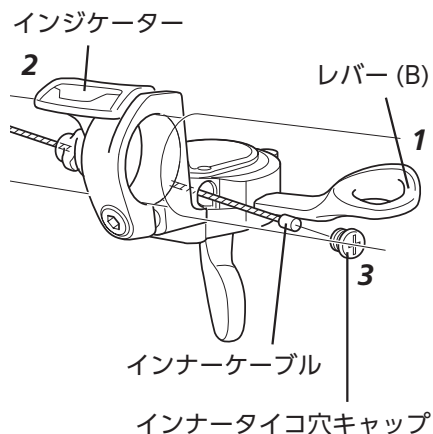


モードコンバーターのない場合

1. レバー (B) を操作して最小チェーンリング / 最小スプロケットにセットします。

*イラストは右レバーです。

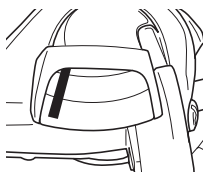
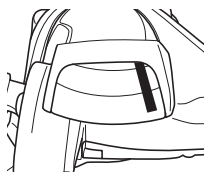
仕様	レバー (B) 操作回数
2段	1回以上
3段	2回以上
7段	6回以上
8段	7回以上
9段	8回以上
10段	9回以上



2. インジケーターがある場合。
インジケーターの指針位置を確認します。

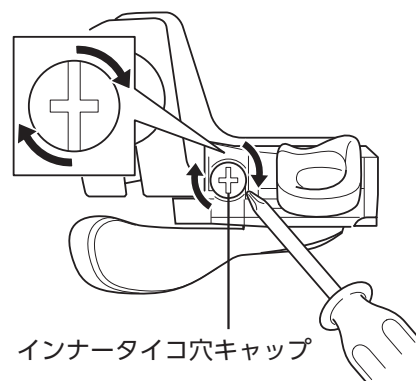
フロント側：右端

リア側：左端



3. インナータイコ穴キャップを取外し、ケーブルを取付けます。

4. インナータイコ穴キャップを図のように止まるまで回して、取付けてください。これ以上回すと、キャップのねじ溝を破損します。



■ インジケーターユニットの交換と組替え

* 分解および組立は、インジケーターユニットの取外しまたは交換時のみ行ってください。

MTB / Trekking

SLX / DEORE XT / DEORE LX

使用上の注意：

フロントレバーがモードコンバーター付の場合、必ずトリプルモードに切替えてからインジケータユニットを交換してください。ダブルモードの状態で行うと、インジケータユニットを破損する可能性があります。交換後、ダブルモードで使用する場合は、モード切替えスイッチを2 x の位置に戻してください。

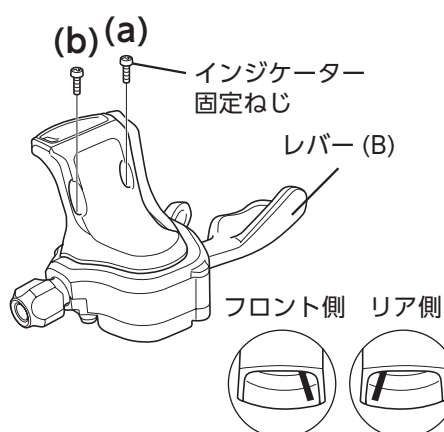
インジケーターユニットの交換

* イラストは左レバーです。

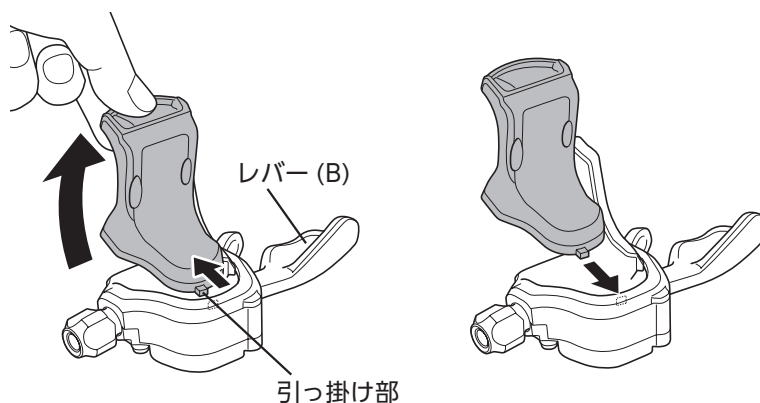
< 分解 >

プラスドライバー #1

締付けトルク：
0.15 N・m



< 組立 >



< 分解 >

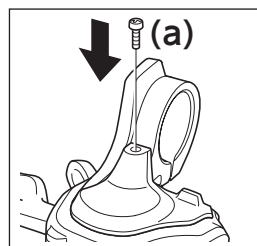
1. レバー (B) を3回以上(リアの場合は9回以上)操作します。
2. インジケーターユニットを固定しているインジケーター固定ねじ (a) および (b) を外します。図のようにインジケーターユニットのレンズ部を持ち上げ引っ掛け部を抜き、上に取外します。
* ねじ (a) と (b) を混同しないでください。
間違えるとねじを破損するおそれがあります。

< 組立 >

1. レバー (B) を3回以上(リアの場合は9回以上)操作します。
2. インジケーターの指針の位置を確認します。(図1)
3. インジケーターユニットを引っ掛け部から差込みセットし、インジケーター固定ねじ (a) および (b) で固定します。
4. 作動を確認してください。正しく作動しない場合は、手順1と2に注意して再度組立ててください。

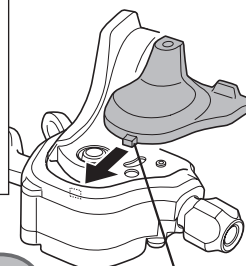
インジケーターなしへの組替え (カバー別売り)

インジケーターユニットを取外した状態に、
別売りのカバーを引っ掛け部から差込みセットし、
インジケーター固定ねじ (a) で固定します。



プラスドライバー #1

締付けトルク：
0.15 N・m

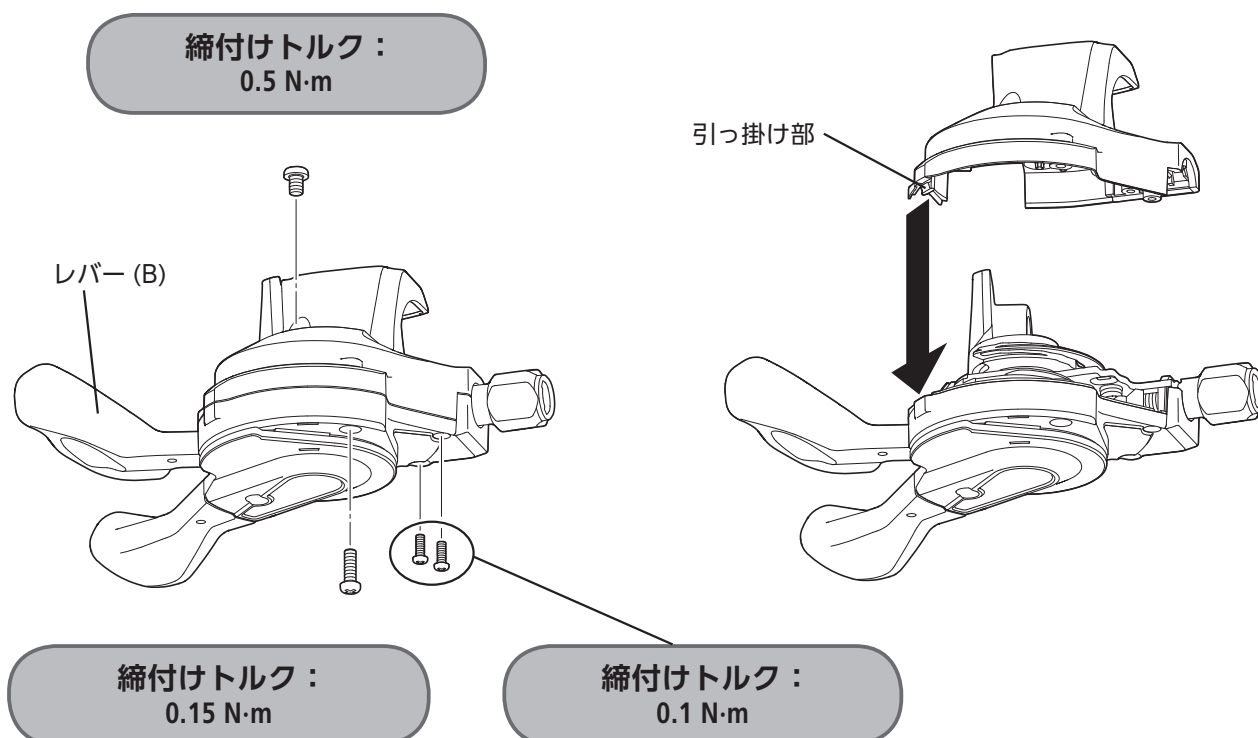


引っ掛け部

DEORE

*イラストは右レバーです。

< 分解 / 組立 >



< 分解 >

1. インジケーター固定ねじ4本を外します。

< 組立 >

1. レバー(B)を操作して最小チェーンリング / 最小スプロケットにセットします。

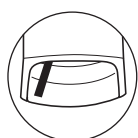
仕様	レバー(B)操作回数
2段	1回以上
3段	2回以上
7段	6回以上
8段	7回以上
9段	8回以上
10段	9回以上

2. インジケーターの指針位置を確認します。

フロント側：右端



リア側：左端



3. インジゲーターユニットを引っ掛け部から差込みセットし、インジゲーター固定ねじ4本で固定します。
4. 作動を確認してください。正しく作動しない場合は手順1、2、3に注意して再度組立ててください。

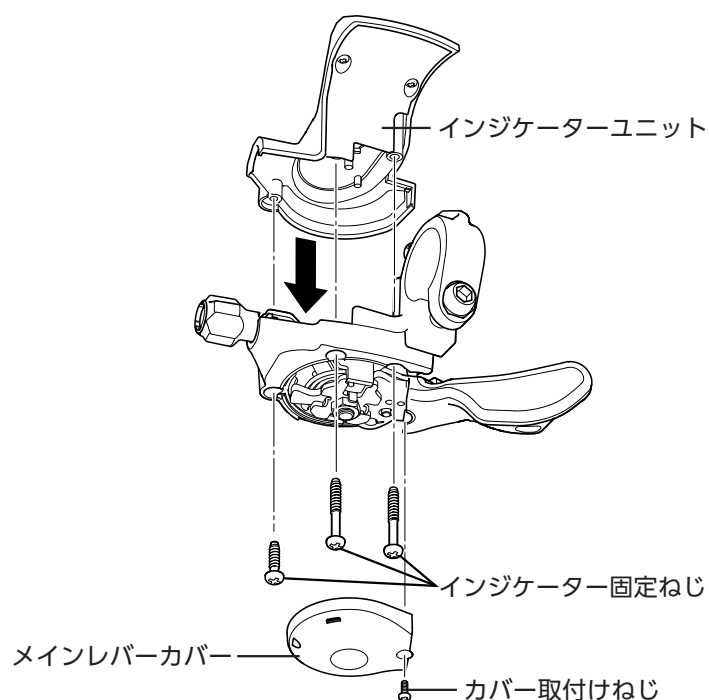
ALIVIO / ACERA / ALTUS

*イラストは右レバーです。

< 分解 / 組立 >

< ALIVIO / ACERA >

*モデルによって、インジケーターユニットの交換が出来ないものがあります。



< 分解 >

1. カバー取付けねじを取り外して、メインレバーカバーを外します。
2. インジケーター固定ねじ3本を外します。

< 組立 >

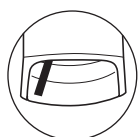
1. レバー(B)を操作して最小チェーンリング / 最小スプロケットにセットします。

仕様	レバー(B)操作回数
2段	1回以上
3段	2回以上
6段	5回以上
7段	6回以上
8段	7回以上
9段	8回以上

2. インジケーターの指針位置を確認します。

フロント側：右端

リア側：左端



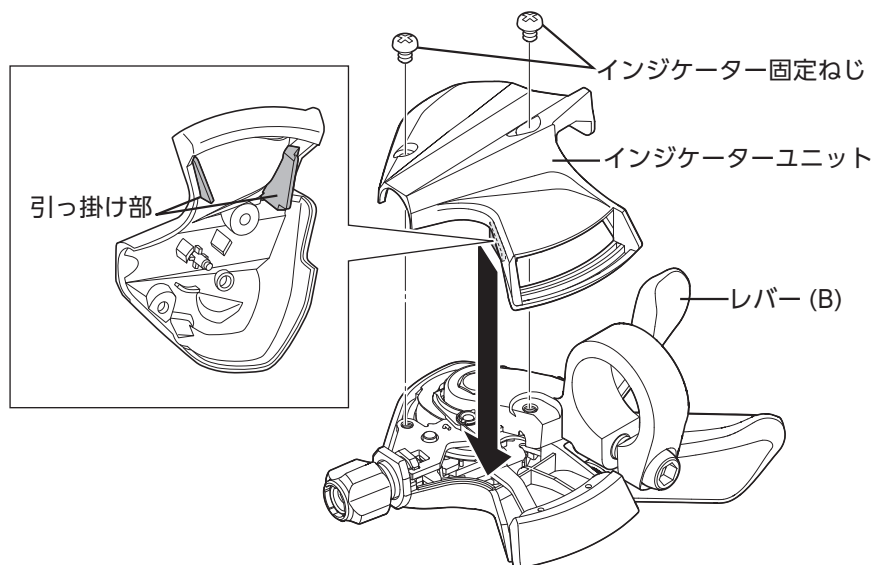
3. インジケーターユニットを引っ掛け部から差込みセットし、インジケーター固定ねじ3本で固定します。
プラスドライバー #2

締め付けトルク	
ロング	0.3 - 0.6 N・m
ショート	0.2 - 0.4 N・m

4. 作動を確認してください。正しく作動しない場合は手順1、2、3に注意して再度組立ててください。

< ALTUS >

*モデルによって、インジケーターユニットの交換が出来ないものがあります。



< 分解 >

1. インジケーター固定ねじ2本を外します。

< 組立 >

1. レバー(B)を操作して最小チェーンリング / 最小スプロケットにセットします。

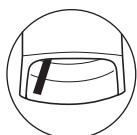
仕様	レバー(B)操作回数
2段	1回以上
3段	2回以上
6段	5回以上
7段	6回以上
8段	7回以上
9段	8回以上

2. インジケーターの指針位置を確認します。

フロント側：右端



リア側：左端



3. インジケーターユニットを引っ掛け部から差込みセットし、インジケーター固定ねじ2本で固定します。

プラスドライバー #2

締付けトルク
0.2 - 0.5 N・m

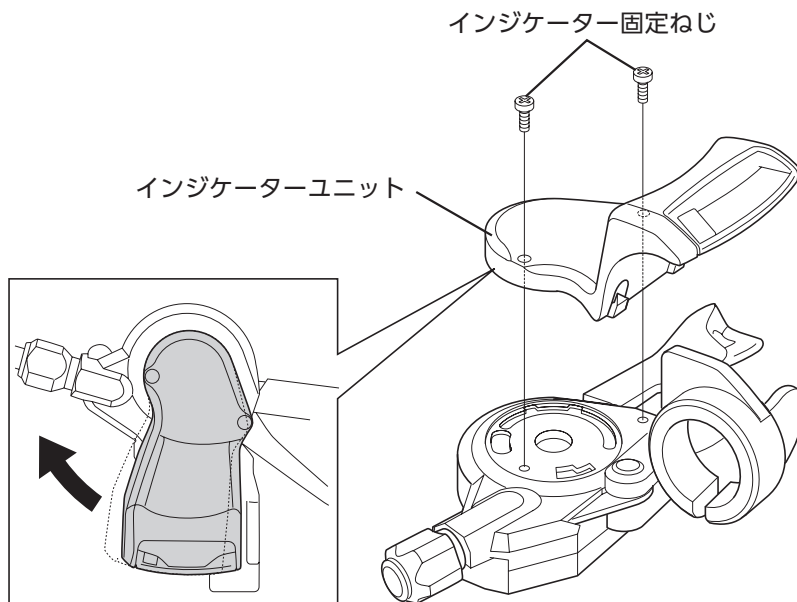
4. 作動を確認してください。正しく作動しない場合は手順1、2、3に注意して再度組立ててください。

Tiagra / SL-R460

*イラストは右レバーです。

< 分解 >

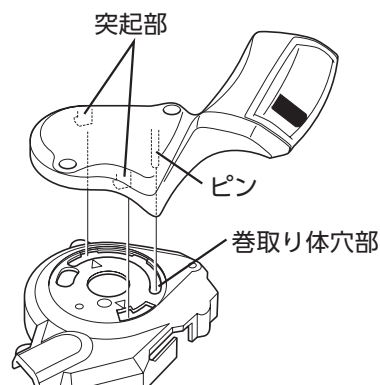
1. インジケーター固定ねじ2本を外します。
2. インジケーターユニットを図のように時計方向へ回転させ、上に外します。
(フロント側：反時計方向へ回転)



< 組立 >

1. レバー(B)を操作して最小チェーンリング / 最小スプロケットにセットします。

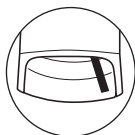
仕様	レバー(B)操作回数
2段	1回以上
3段	2回以上
10段	9回以上



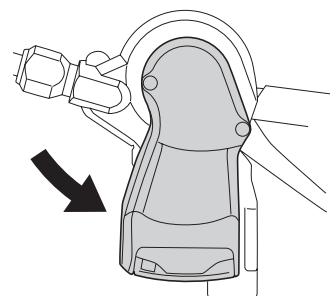
2. インジケーターの指針位置を確認します。

フロント側：右端

リア側：左端



3. インジケーター下のピンを巻取り体穴部に差し込み、インジケーターユニットの突起部(2ヶ所)をシフティングレバーユニットの△印に合わせてはめ込みます。
4. 図のようにインジケーターユニットを反時計方向に回転させ、セットします。(フロント側：時計方向に回転)
5. インジケーター固定ねじ2本で固定します。



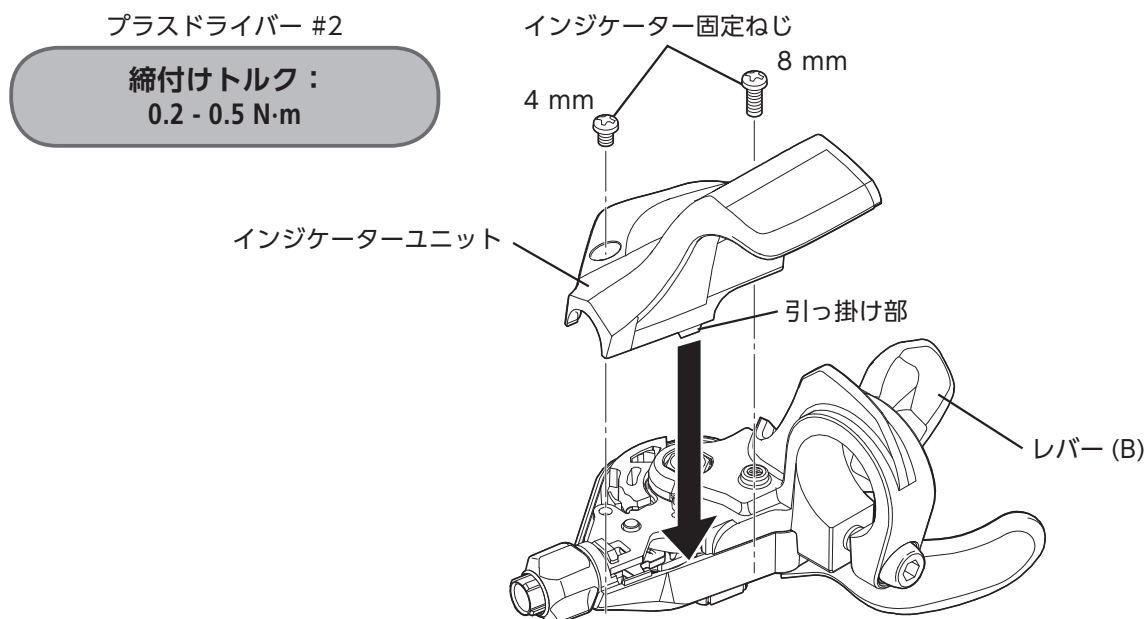
締付けトルク：
0.14 N・m

6. 作動を確認してください。正しく作動しない場合は手順1、2、3に注意して再度組立ててください。

SORA / Claris / SL-R350 / SL-R353

*イラストは右レバーです。

< 分解 / 組立 >



< 分解 >

1. インジケーター固定ねじ2本を外します。

< 組立 >

1. レバー(B)を操作して最小チェーンリング / 最小スプロケットにセットします。

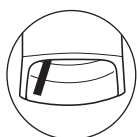
仕様	レバー(B)操作回数
2段	1回以上
3段	2回以上
6段	5回以上
7段	6回以上
8段	7回以上
9段	8回以上

2. インジケーターの指針位置を確認します。

フロント側：右端



リア側：左端



3. インジケーターユニットを引っ掛け部から差込みセットし、インジケーター固定ねじ2本で固定します。
4. 作動を確認してください。正しく作動しない場合は手順1、2、3に注意して再度組立ててください。

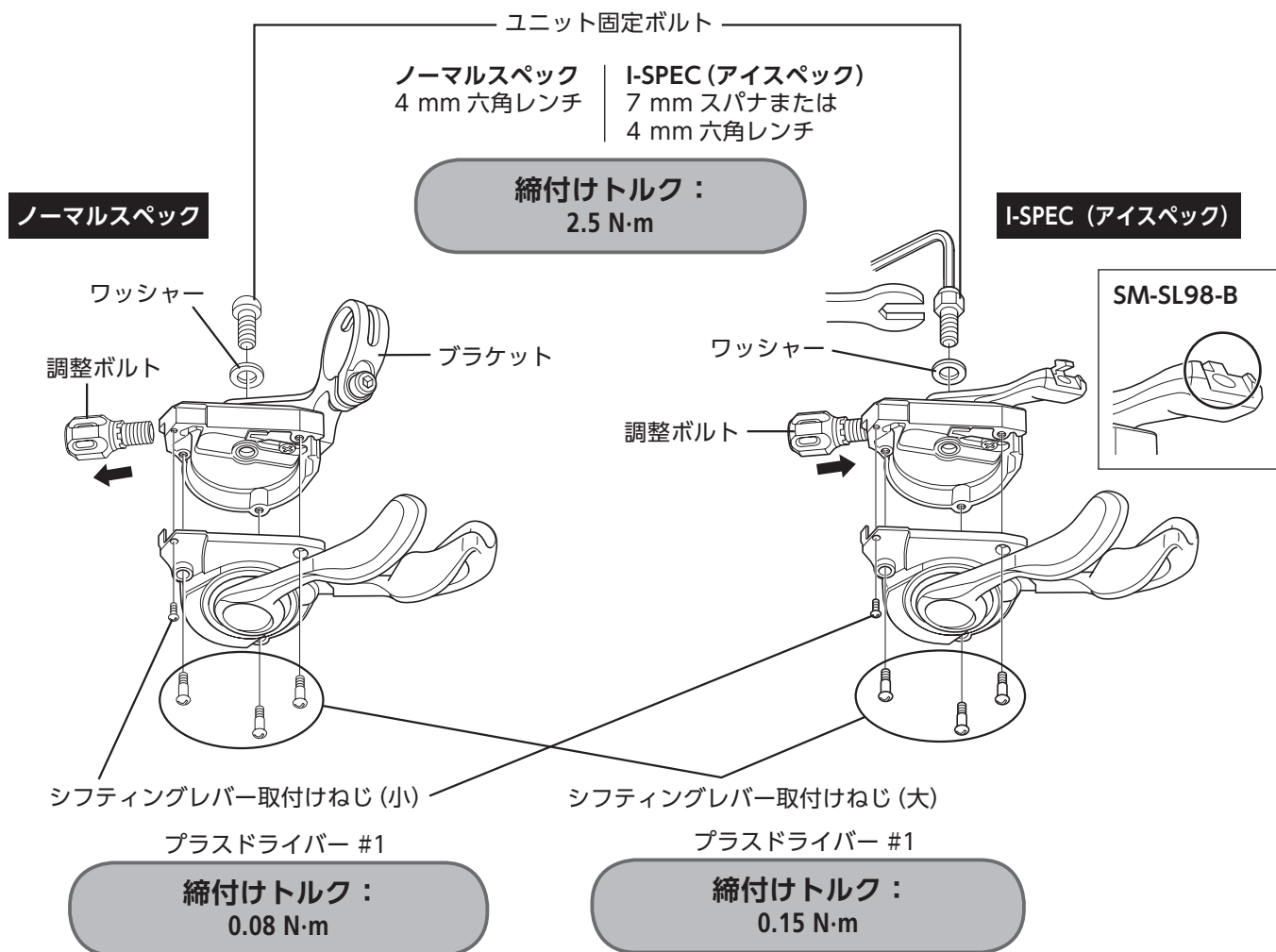
■ シフティングレバーユニットの交換と組立

分解および組立は、ユニット部の交換時のみに行ってください。

MTB / Trekking

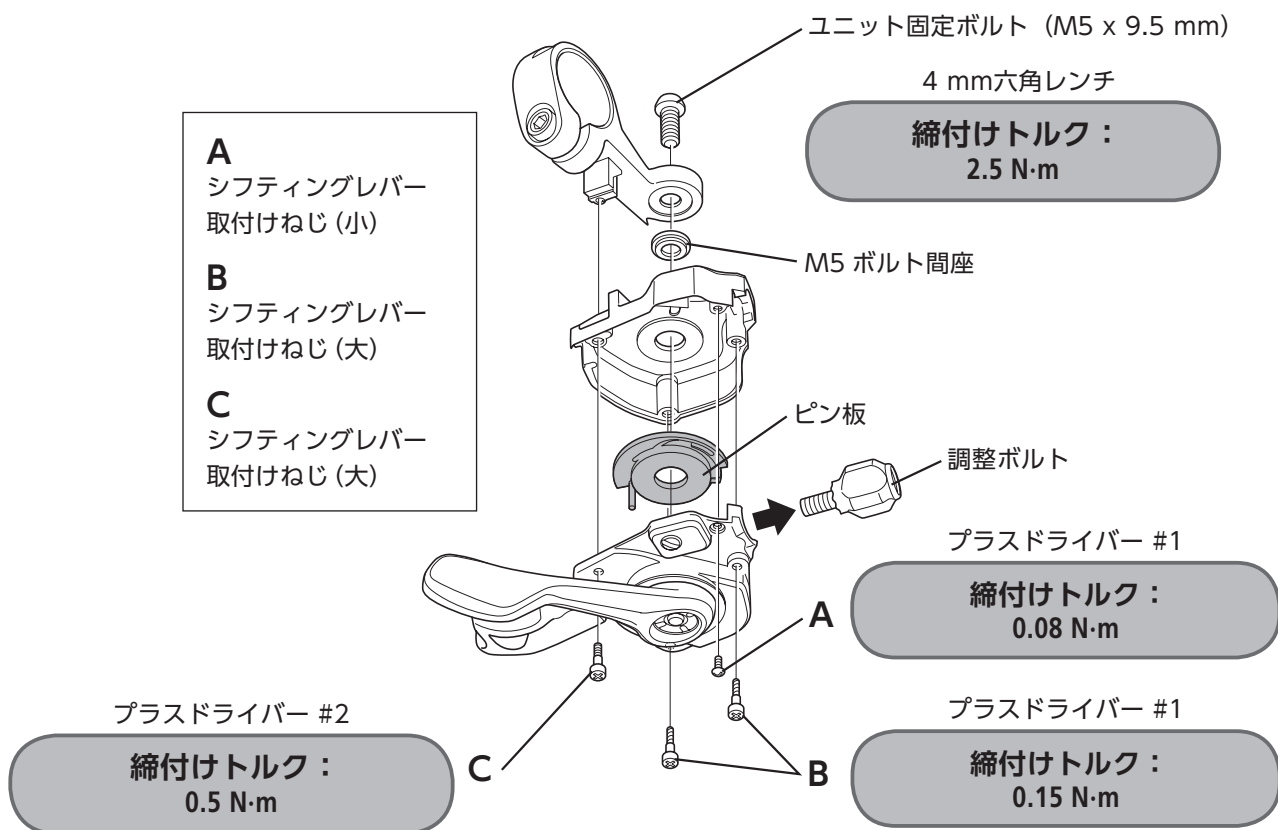
XTR / SAINT / DEORE XT

*イラストは右レバーです。左レバーも同じ手順で行います。



1. フロントディレイラーまたはリアディレイラーのケーブル固定ボルト（ナット）を緩め、インナーケーブルを取付け時と同じ要領でシフティングレバーユニットから抜き取ります。
2. 調整ボルトを外します。
3. ユニット固定ボルトを外します。
4. シフティングレバーの取付けねじを4本とも外し、図のようにシフティングレバーユニットを外します。
5. 組立はシフティングレバーユニットとブラケットの位置を合わせ、シフティングレバーの取付けねじで固定します。
6. ワッシャーをボルトに挿入して、ユニット固定ボルトを固定します。
7. 調整ボルトを取付けます。

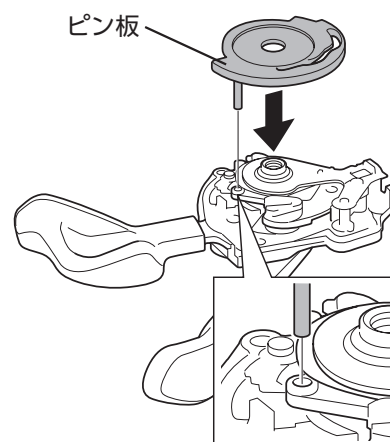
DEORE XT (Trekking)



1. フロントディレイラーまたはリアディレイラーのケーブル固定ボルト (ナット) を緩め、インナーケーブルを取付け時と同じ要領でシフティングレバーユニットから抜き取ります。
2. 「インジケーターユニットの交換」の分解手順に従いインジケーターユニットを取外します。
3. 調整ボルトを外します。
4. ユニット固定ボルトを外します。
5. シフティングレバーユニットの取付けねじを4本とも外し、図のようにシフティングレバーユニットを取外します。
*ねじA、B、Cを混同しないように注意してください。
6. シフティングレバーユニットからピン板を取外します。

< 組立 >

1. ピン板を新たに組立てるシフティングレバーユニットにセットします。
*図のように、ピン板の突起をシフティングレバーユニットの孔部に合わせてセットしてください。
2. シフティングレバーユニットとブラケットの位置を合わせ、シフティングレバーユニットの取付けねじ4本で固定します。
*M5ボルト間座をセットしてから固定してください。
3. ユニット固定ボルトを締付けます。
4. 調整ボルトを取付けます。
5. 「インジケーターユニットの交換」の組立手順に従い、インジケーターユニットを取付けます。



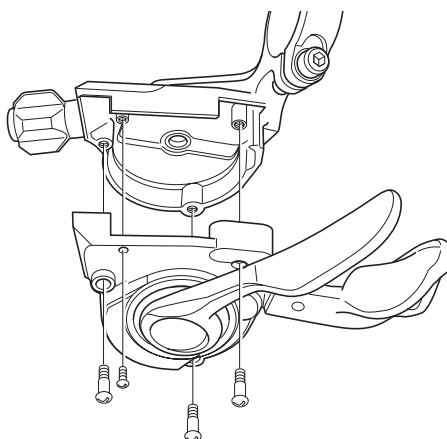
Tiagra / SL-R460

シフティングレバーユニット取付けねじ (小)

締付けトルク :
0.08 N・m

シフティングレバーユニット取付けねじ (大)

締付けトルク :
0.14 N・m

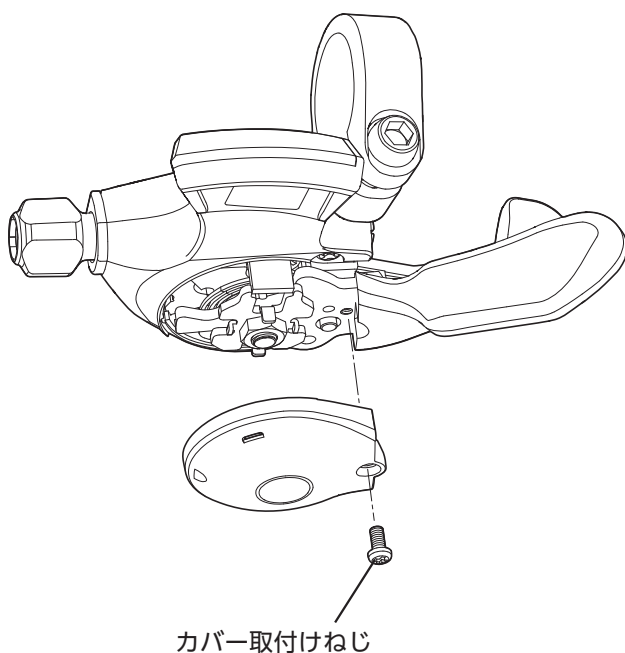


1. フロントディレイラーまたはリアディレイラーのケーブル固定ボルト (ナット) を緩め、インナーケーブルを取付け時と同じ要領でシフティングレバーユニットから抜き取ります。
2. 「インジケーターユニットの交換と組替え」の分解手順に従いインジケーターユニットを取外します。
3. シフティングレバーユニット取付けねじを4本ともはずし、図のようにシフティングレバーユニットを取外します。
4. シフティングレバーユニットとブラケットの位置を合わせ、シフティングレバーユニット取付けねじ4本で固定します。
5. 「インジケーターユニットの交換と組替え」の組立手順に従いインジケーターユニットを取付けます。

■ カバーの交換

MTB

ALIVIO / ACERA / ALTUS / SL-M315



<ALIVIO/ ACERA>

プラスドライバー #1

締付けトルク：
0.1 - 0.3 N·m

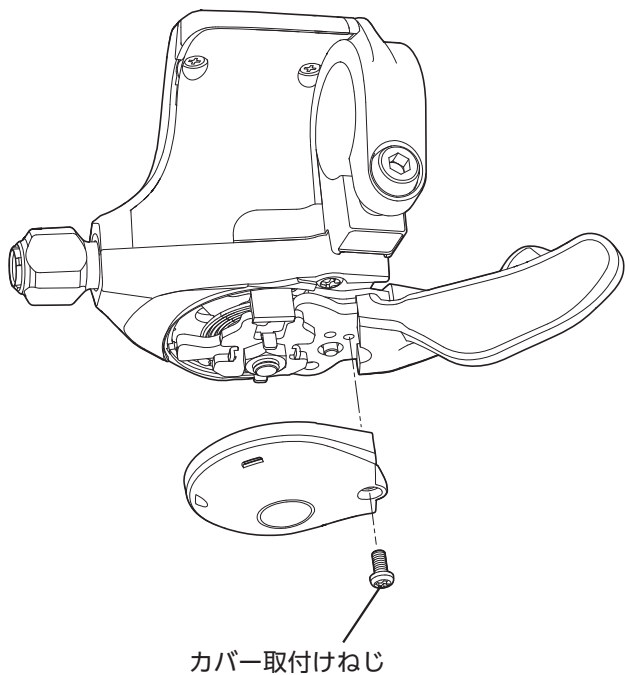
<ALTUS / SL-M315>

プラスドライバー #1

締付けトルク：
0.2 - 0.5 N·m

ROAD

SORA / Claris / SL-R350 / SL-R353



プラスドライバー #1

締付けトルク：
0.1 - 0.3 N·m



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 シマノ

〒590-8577 堺市堺区老松町3丁77番地